

大日本労働同盟友愛會

◎日時 十月五日午後六時半
◎場所 中央公會堂

辯士

開會の辭 大阪聯合會主事 西尾末廣
労働の目的 本部會計 松岡駒吉
新社會の建設 京都聯合會主事 東忠繼
ゼノア會議に就て 海員部長 濱田國太郎

八週年大演說會

聯合より合同へ 全日本礦夫總聯合理事 河井榮三
資本主義の現實曝露 東京聯合會主事 棚橋小虎
夕立ち前 關西出張所主任 久留弘三
フロレタリアート責任 全日本礦夫總聯合理事 麻生久三
工場管理權論 關西労働同盟會理事長 賀川豊彦
改造期の労働の運動 會 鈴木文治

外數名

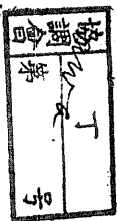
同志に檄す!!!

我等は同志の團結と正義の力により解決を期す

僅かな要求も自己の營利に反するが故に一蹴し去るのみならず官權又彼等に迎合して治安の維持を名として吾等の同志を檢束せり。穩健に然も合理的に交渉を續けんとする者を暴民化せんとするは實に彼等資本家と官憲ではあるまいか。吾等は吾々同志の團結と應援の力により彼等を教へ彼等を導かねばならぬ。
藤永田造船所の兄弟のために同志を糾合して労働者の眞實の力を示すべく起たねばならぬ。

我等は暴民に非ず!!!

友愛會大阪聯合會
大阪造船労働組合



東京毎日新聞が、昨年以來、労働新聞たることを宣言し其の紙上には「我等は正義の味方なり」との標語を掲げ來れるにも拘らず今回、正進會の罷業に對する態度は徹頭徹尾資本主義的にして、新聞工壓迫の機關たる新聞聯盟協會の掣肘より脱する能はず、報知新聞事件以來殆ど労働争議に關する記事を掲げざるのみならず、同社長藤田氏は、十三日夜、我が同盟會幹部に對して十分諒解ある如き意志を表示し置きながら十四日朝に至りて突然同社工場に於ける正進會幹部諷刺、綿引の二名を不當逮捕せり、かくて我等は「欺かれたり」「售られたり」同新聞に對する從來の信頼は根本的に切滅せり、今日以後我等は同新聞を聊かも信頼せざるのみならず、其の背信の態度を極力彈劾せんことを期す。

大正九年十月十四日

紡織労働組合 東京電氣及機械鐵工組合
汎勞會 工人會
啓明會 日本交通労働組合
新聞工組合 正進會 友友會
大進會 東京鐵工組合
日本礦夫總同盟 友愛會

宣言